

# 京都の土地改良



「春のひととき」第17回水土里ふるさと写真コンクール応募作品

## 年頭ごあいさつ

京都府土地改良事業団体連合会会長	藤 原 秀 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会会長	二 階 俊 博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進 藤 金 日 子	5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮 崎 雅 夫	6

令和2年度理事会並びに監事会を開催	7
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	10
令和3年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	11
京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会	12
水土里相談推進事業について	13
令和2年度換地事務新規担当者研修	14
会計システム合同研修会の開催	14
第17回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品	15
京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組み	16
京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組み	18
土地改良区等紹介コーナー（丹後土地改良区）	19
府内主要事業の紹介	20
令和2年度京都府農林水産業功労者表彰	21
Web会議の活用について	21
資格取得者紹介	22
非補助農業基盤整備資金	22
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020 京都府内受賞者紹介	23

# 年頭のご挨拶



京都府土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット京都) 会長

藤原秀夫

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様に謹んで新年のご挨拶を申しあげます。皆様方には日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大のご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の侵入・拡大により日常生活はもとより様々な活動に大きな制約を受けました。本連合会においても、感染症対策のため、全国土地改良大会群馬大会の延期や京都府農業農村整備事業推進大会の中止、土地改良区・市町村の方々との水土里相談の書面質疑への変更、リモートによる会議の開催など会員の皆様には何かとご迷惑やご不便をおかけ致しました。この感染症に関しては、Withコロナ社会と言われますように長くお付き合いをしなければならない状況であり、本連合会においても、引き続き感染症予防対策に万全を期した上で、組織運営並びに諸事業に当たって参りますのでご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、国においては、今後10年間の農政の指針となる「食料・農業・農村基本計画」が昨年3月に閣議決定され、『「産業政策」と「地域政策」を車の両輪として 推進し、将来にわたって国民生活に不可欠な 食料を安定的に供給し、食料自給率の向上と 食料安全保障を確立』を基本方針として、講ずべき施策の一つとして『農業基盤の整備』が位置づけられ、農業の成長産業化を進めるための、農地の大区画化、水田の汎用化や畑地化、畑地や樹園地の高機能化等の推進、農業水利施設を長寿命化し、ライフサイクルコストを低減する戦略的な保全管理の徹底を推進、 頻発化、激甚化する災害に適切に対応するための、農業・農村の強靭化に向けた防災・減災対策の推進、が示されました。

本連合会といたしましては、ほ場整備の設計、長寿命化に繋がる土地改良施設の点検、さらに、ため池の点検やハザードマップ策定などの業務実績を活かし、引き続き会員の要請に応えていきたいと考えております。特に、昨年と今年の2年続けて、ため池に関連する法律（農業用ため池管理・保全法（令和元年7月施行）、防災重点ため池防災工事特別措置法（令和2年10月施行））が制定され、本連合会におきましても、昨年4月に「ため池サポート課」を設置し、ため池関係業務の実施体制を強化するとともに、京都府、市町村とともに設立した「京都府農業用ため池管理保全サポート協議会」の事務局を担当しており、関係機関と緊密に連携しながら、効果的な施策推進に取り組んで参ります。

こうした取組みに必要な農業農村整備事業関係予算につきましては、昨年末に令和3年度当初予算の4,445億円、補正予算の国土強靭化5か年対策1,155億円とTPP対策700億円を合わせ6,300億円が閣議決定されました。これは、当初予算と国土強靭化対策は前年を上回る額で全国、京都府の要望を満たすものとなっており、我々土地改良関係者が、地域の声を国政の場に届けるとともに、国政でご活躍の進藤参議院議員、宮崎参議院議員のご尽力の結果であり、引き続き両議員の活動としっかり連携しながら、予算の確保や施策の充実・強化を推進して参りたいと考えております。

新しい年を迎え、農業農村を支える土地改良事業が効果的、効率的に実施されますよう、本連合会の事業や活動の充実を図るとともに、会員の皆様と一緒に、農業農村整備関係事業の推進に取り組んで参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の早期収束と、皆様方のご家族共々のご多幸、ご清祥をお祈り申し上げまして、私の新年のご挨拶と致します。



京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さんにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症によって、府民生活や社会経済活動がかつて経験したことのない甚大な影響を受けた年でありました。さまざまな困難の中、感染拡大防止にご協力を頂いているすべての府民の皆さん、事業者の皆さん、医療従事者をはじめ関係の皆さんに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類は長い歴史において幾度となく感染症の脅威にさらされながら、必ず乗り越えてきました。

「下を向いていては、虹を見つけることはできない

～You'll never find a rainbow if you're looking down～」

これは世界の喜劇王、チャールズ・チャップリンの言葉です。コロナ禍を乗り越えた先にある、未来に夢や希望を持てる新しい京都に向かって、われわれは上を向いて歩んで行かなければなりません。そのための足元固めとして、医療・検査体制については関係機関の協力のもと、京都府が責任を持って対応してまいります。また、地域経済に活力を取り戻し、府民の皆さんの生活と雇用をしっかりと守ってまいります。その上で、京都府総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、府民の皆さんができる積極的な施策を推進し、全庁一丸となって取り組みをさらに加速させていく所存です。

いよいよ本年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が、翌年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催されます。人類が新型コロナを克服した証しとして大会を成功に導き、さらには2022年度中の文化庁の全面的な移転など、京都の持つ文化の力で、地域の隅々まで光が満ちるように元気な未来を築いてまいります。

本年は丑年。牛の歩みも千里と申すように、一歩一歩、力強く歩みを進め、成功を導く年とされています。地域に子どもたちの笑い声が響き、すべての府民が笑顔で過ごせる京都を実現するため、皆さんと共に歩んでまいりたいと願っております。

皆さんにとりまして、本年が健やかで幸多き一年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

# 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博



令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立つていただいていることについて、心から敬意を表します。

全国で32カ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様の御尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為の国土強靭化対策が延長され、新たな5ヶ年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いている。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一緒に取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

# 新年のご挨拶



参議院議員 進 藤 金 日 子

新年明けましておめでとうございます。京都府の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靭化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靭化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となつた例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

京都府の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 新年ご挨拶

参議院議員 宮 崎 雅 夫



明けましておめでとうございます。京都府の土地改良関係の皆さんに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さまには、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただきしておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウィルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた皆さまには衷心よりお見舞い申し上げ、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受け11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さま方のご关心も高い、防災・減災、国土強靭化対策については、現行の3ヵ年緊急対策に続き令和7年度までの5ヵ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靭化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池、農業水利施設等の老朽化対策や予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靭化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せ生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、京都府の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶といたします。

# 令和2年度理事会並びに監事会を開催

理事会並びに監事会が開催され、すべての議案が原案のとおり承認されました。

## ■ 第1回監事会・第1回監査

日 時 令和2年7月15日(水) 12時30分から

場 所 本会役員室

### 〈監事会〉

- (1) 令和2年度の監査計画について
- (2) 令和2年度(第1回) 収入支出補正予算の承認について
- (3) この会と理事との契約についてこの会の代表に関する事項について

### 〈監査〉

- (1) 令和元年度事業報告書
- (2) 令和元年度収入支出決算書並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第1回監事會第1回監査

## ■ 第1回理事会

日 時 令和2年7月18日(土) 10時から

場 所 ホテルセントノーム京都(京都市南区)

### 〈議事事項〉

- (1) 令和元年度事業報告書の承認について
- (2) 令和元年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (3) 令和2年度(第1回) 収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について

### 〈協議事項〉

- (1) 支部総会の書面開催について



第1回理事会

## ■ 第2回監事会

日 時 令和2年12月1日(火) 13時から

場 所 本会役員室

### 〈監事会〉

- (1) 令和2年度(第2回) 収入支出補正予算の承認について
- (2) 本連合会と理事との契約について



第2回監事會

## ■ 第2回理事会

日 時 令和2年12月5日(土) 10時30分から

場 所 都ホテル京都八条(京都市南区)

### 〈議事事項〉

- (1) 令和2年度(第2回) 収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について
- (2) 規約の変更について
- (3) 規程の変更について
  - ア 情報公開規程の変更について
  - イ 会計規程の変更について
- (4) 参与の解嘱について

### 〈協議事項〉

- (1) 支部の通帳及び印鑑の適正な管理について



第2回理事会

## 農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動

令和2年11月6日（金）、本会及び京都府農業農村整備推進協議会は、令和3年度の農業農村整備事業の推進に向けて、京都府議会土地改良議員連盟と合同で、農林水産省、財務省、自由民主党、関係国会議員に対して要望活動を行いました。



宮内農林水産副大臣



二階自由民主党幹事長、田中英之議員  
西田昌司議員、二之湯智議員、宮崎雅夫議員



牧元農林水産省農村振興局長



波戸山財務省主計局主計官

令和2年12月16日（水）、西脇京都府知事、山下副知事に対して要望活動を行い、引き続き、近畿農政局長あてに要望書を提出しました。



## 〈要望事項〉

### ■ 重点事項

- 1 農業農村整備事業が計画的・安定的に執行できる当初予算の確保
  - ・農地集積や京野菜など高収益作物の導入を促す圃場整備等生産基盤整備の推進
  - ・豪雨や地震に備える、ため池整備など農村の防災減災対策の推進
  - ・老朽化する農業水利施設の長寿命化対策など、適切な保全管理の推進
- 2 農村地域の国土強靭化の推進
  - ・激甚化する災害に備え「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を踏まえた令和3年度以降の制度の充実と予算の確保
  - ・ため池のハザードマップ作成の定額助成延長や改修整備などの着実な推進
  - ・「農業用ため池管理保全法」や「防災重点農業用ため池防災工事特別措置法」に係る市町村、土地改良区への支援の充実
  - ・安心して京野菜などを栽培できる環境を確保する農業用排水機場改修の促進
  - ・土地改良施設の定期的な診断活動や維持管理適正化事業の予算の確保
  - ・災害復旧事業申請に付帯する設計業務等の支援制度の拡充
- 3 日本型直接支払制度の予算の確保と制度の充実
  - ・多面的機能支払、中山間地域等直接支払の交付金予算の確保
  - ・活動の継続のため広域化を促進する地域協議会への支援の充実
  - ・水土里ネットの培った技術、経験など持てる能力の積極的な活用とその支援の充実

### ■ 一般事項

- 4 貴重な農業空間を維持している都市農業地域における土地改良施設の整備・保全対策の農業振興地域と同様の推進
- 5 農村地域の生産基盤と住民の安心安全を支えている土地改良団体に対する技術力の向上と運営基盤強化の支援
- 6 新型コロナウイルスの拡大防止に係る土地改良区等への支援

京都府土地改良事業団体連合会

会長　藤原秀夫

京都府農業農村整備事業推進協議会

会長　田中英夫

# 農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和2年11月20日（金）、東京都の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」が、全国からの参加者約500名の参加で開催されました。今回は新型コロナ感染症拡大防止の観点から、密を避けた開催となり、例年の約半数の参加者となりましたが、満場一致で要請文が採択されました。閉会後、関係国会議員に要請活動を行いました。



二階会長あいさつ



野上農林水産大臣祝辞



会場風景（京都府参加者）



二之湯智議員へ要請

## 記

- 一 農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和三年度当初予算について、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。また、令和二年度補正予算についても、十分な予算措置を講じること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興を早急に進めること。その際、原形復旧に止まらず、再度災害防止の措置を講じること。
- 三 農業の競争力強化のため、高収益作物の導入、農地集積・集約化を促す農地の大区画化、汎用化と水田の畑地化を一層推進すること。
- 四 農村地域の国土強靭化のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化・豪雨・耐震化対策等を一層推進すること。特に、令和三年度以降の国土強靭化対策については、これまでの三年間緊急対策の内容の拡充を図り、中長期的かつ明確な見通しのもと、令和三年度からの五年か年の計画として、別枠で大幅な当初予算規模の拡充を図ること。
- 五 改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めること。また、複式輪作の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を、土地改良区の声に真摯に耳を傾けて推進すること。
- 六 豪雨災害の頻発・激甚化、農業用ダムの洪水調節機能の強化、農業構造や當農形態の変化に適切に対応できるよう、農業水利施設の維持管理に関する支援を強化すること。

七 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、技術的、財政的支援とともに十分な財政措置を講じ、農業用ため池の防災対策をソフト・ハード両面にわたって強力に推進すること。

八 ため池の決壊や排水施設の溢水等により、住民の生命・財産への被害が生じていることに鑑み、令和二年度に創設された緊急渡渉推進事業の対象に防災重点農業用ため池や基幹的な農業水利施設を追加すること。

九 農業用ダムの洪水調節機能の強化に当たっては、ダム管理者及び関係利水者の過度な負担とならない取組とともに、必要な支援措置を講じること。

十 多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の共同活動等を推進するため、十分な予算の確保とともに運営体制の強化を図ること。また、取組を一層発展させるため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を十分活用できる支援措置を講じること。

十一 少子高齢化・人口減少により集落の衰退が現実のものとなりつつあり、また、生活インフラは老朽化し自然災害にも脆弱な状況にある。一方で、新型コロナウイルス感染症の教訓により、農村居住やリモートワーク・農泊といった農村の価値が改めて高く評価されている。

これらを踏まえ、農村における生活環境の維持・向上を図るとともに、都市・農村の交流・関係人口の増大を図るために、集落排水施設、農道・集落道や情報通信環境といった農村インフラの整備・統廃合や長寿命化・強靭化を推進すること。

十二 新型コロナウイルス感染症が再拡大するリスクに備えて、必要に応じ、農業水利施設の維持管理に関するセーフティーネットを構築すること。

## 要請事項

## 令和3年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和2年12月21日に閣議決定され、令和3年度当初4,445億円+令和2年度補正1,855億円（国土強靭化対策1,155億円、TPP対策700億円）=6,300億円が概算決定されました。補正のTPP対策を除く5,600億円は平成21年度の5,772億円に迫る規模です。

国土強靭化対策については、5カ年の加速化対策となり、今後5カ年間の予算が確保されるもので、初年度分1,155億円が補正予算で計上されます。

### ○令和3年度当初

(単位：億円)

	3年度 予算案
・農業農村整備事業（公共）	3,333 ( 3,264 )
・農地耕作条件改善事業	248 ( 250 )
・農業水路等長寿命化・防災減災事業	258 ( 258 )
・農山漁村地域整備交付金（公共）	595 ( 661 )
・農山漁村振興交付金	12 ( - )
計	4,445 ( 4,418 )

※下段（ ）書きは、令和2年度当初予算額である。端数処理により合計額は合わない。

### ○令和2年度補正

(単位：億円)

	補正 予算案
・農業水利施設等・ため池の防災・減災対策（公共）	1,155
・「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策 農地の大区画化・汎用化、水田の畑地化 畑地・樹園地の高機能化等の推進	700
計	1,855

# 京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会



藤原会長あいさつ



会場の様子



表彰の様子

京都府農業農村整備事業表彰式・土地改良区役職員等研修会を、11月24日（火）国立京都国際会館において開催いたしました。

第1部の京都府農業農村整備事業表彰式では、第17回水・土・里ふるさと写真コンクールの入賞者の表彰（受賞作品P15）、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から表彰の授与を延期していた各賞の伝達及び表彰、さらに本会の運営に永年ご尽力いただいた方々への感謝状の贈呈を行いました。

## 第61回全国土地改良功労者等表彰 団体表彰（伝達）

金賞 内川土地改良区

銀賞 亀岡市亀岡土地改良区

銅賞 亀岡市昭和池土地改良区

## 第61回全国土地改良功労者等表彰 個人表彰（伝達）

安平治勝美 京都市洛南土地改良区理事長

横山宏章 福知山市堀口堰土地改良区理事長

松井 崇 （前）京都府土地改良事業団体連合会事務局長

藤原真登 京都府土地改良事業団体連合会次長

## 京都府土地改良事業功労者表彰

三宅 豊 京都市洛北土地改良区理事長

樋口忠夫 （前）洛西土地改良区副理事長

木村健一郎 京都市洛南土地改良区副理事長

山本喜八郎 城西土地改良区理事長

藤林昌弘 普賢寺土地改良区理事

藤本隆司 大住土地改良区副理事長

西井利也 丹後土地改良区総括監事

井尻博之 丹後土地改良区監事

越智直幸 京都府土地改良事業団体連合会業務課担当係長

## 感謝状贈呈



石井明三 （前）京都府土地改良事業団体連合会理事

木村 要 ”

三崎政直 ”

稻田宗夫 ”

久田吉治 （前）京都府土地改良事業団体連合会常務理事

第2部の土地改良区役職員等研修会は、近畿農政局次長宮崎敏行様から「農業農村整備の動向について」と題して、農業農村整備の変遷、関係予算及び食料・農業・農村基本計画など幅広い内容の講演をいただきました。次に、学校法人大和学園 京都調理師専門学校校長仲田雅博様から「京都の農産物と京の食文化」と題して、京料理の素晴らしさは京都の農産物の質が高いからなど、参加者への大きな激励をいただきました。最後に全国土里ネット会長会議顧問参議院議員進藤金日子様から「基調報告」として、国政における農業農村整備事業の展開方向、関係予算の動向など、大いに参考となるご講演をいただきました。



近畿農政局宮崎次長



全国水土里ネット会長会議顧問 進藤参議院議員

## 水土里相談推進事業について

毎年7～8月に府内を巡回し水土里相談を実施しているところですが、令和2年度は今なお終息が見通せない新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、対面で行う巡回相談は見合わせ、文書による相談・要望等の聞き取りと回答を実施しました。なお、必要に応じ現地に赴き感染防止対策に配慮した上で、相談内容を確認しながら回答させていただきました。

今回の主な相談内容は下表のとおりでした。

連合会では土地改良事業の一層の推進に向けた取り組みとして、会員の皆様の相談・要望等にお答えするため、今後も本事業を継続してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

### 相談内容

項目	件数
1 土地改良区の運営について	6
2 土地改良施設について	6
3 会員支援事業について	1
4 複式簿記等について	2
5 要望等について	4

### 相談詳細確認風景



## 令和2年度換地事務新規担当者研修

令和2年9月3日（木）、11月19日（木）の2日間、京都府自治会館において、土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）により、新たに換地事務に携わる京都府、市町村等の職員を対象に、土地改良法を始め換地事務に必要な関係法令等の知識の習得を目的に、令和2年度換地事務新規担当者研修会を開催し、27名の参加がありました。

本研修では、1日目は近畿農政局農村振興部土地改良管理課 松尾農地集団化推進官及び細渕事業指導係長並びに京都府農業会議農村創生部 多田農地利用最適化推進課長から換地事務に必要な関係法令、理論についてご講義いただきました。

2日目は、本会換地担当職員4名がそれぞれ講師となり、換地業務における手法等について講義を行いました。

なお、さらなる知識の習得を目指し、令和3年2月においても、令和2年度換地計画実務研修会の開催を予定していますので、積極的なご参加をよろしくお願いします。



1日目



2日目

## 会計システム合同研修会の開催

令和2年10月7日（水）に「会計システム合同研修会」を、南部会場（ルビノ京都堀川）、北部会場（南丹市国際交流会館）の2会場で同時開催しました。

本研修会では、土地改良法の改正に伴い、複式簿記を導入するために会計システムの導入を検討される土地改良区が増えていることから、会計システムの理解を深め、土地改良区で利用する会計システムの選択の参考としてもらうための研修会を実施しました。

コロナ禍での開催となりましたが、会場を2会場に分けることで密を避けるとともに、説明をリモートで実施（千葉県、大阪府、秋田県から講師対応）することで他府県からの移動による感染リスクを軽減。会場入り口での検温・手先消毒、会場換気の徹底などの基本的な新型コロナウイルス感染症対策も実施するなど参加者の安全に十分配慮しました。



北部会場



南部会場

## 第17回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品

「次世代に引き継いでいきたい身近なふるさとを感じる写真」を基本テーマに行われた第17回水・土・里ふるさと写真コンクール（主催：京都府土地改良事業団体連合会）に、231点の応募があり、8月3日（月）の審査委員会において、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、特別賞1点、佳作7点が決定され、11月24日（火）開催の京都府農業農村整備事業表彰式において表彰をとり行いました。

本年度も同コンクール（第18回）を実施することとし、募集を行っております。



金賞「早乙女さん」 海道 肇一  
撮影場所 南丹市



銀賞「稻はこび」 三宅 憲二  
撮影場所 京丹後市



銀賞「羽ばたく子」金久 昌和  
撮影場所 京丹後市



銅賞「雪の海岸」城田 祥男  
撮影場所 与謝野町



銅賞「わあ! 気もちいい」白木 文枝  
撮影場所 福知山市



銅賞「彼岸花の里」山下 文行  
撮影場所 亀岡市



特別賞「しばしも休まず」梅原 隆  
撮影場所 綾部市

### 審査委員長 講評

地域に根ざした豊かな自然とそこに暮らす人々の営みを撮影した約230点の応募がありました。金賞に輝いた海道さんの「早乙女さん」は、五穀豊穣を願う神事「お田植え祭」を撮影した作品です。かやぶき家屋を背景に、参加した早乙女らの姿が水田に照り映え、見事な色彩です。銀賞の金久さんの写真「羽ばたく子」は、望遠レンズで特別天然記念物のコウノトリの巣を捉えました。地域が自然豊かな土地であることを象徴するような写真です。同じく銀賞の「稻はこび」は、稻刈りを手伝う子どもたちの生き生きとした表情がよく伝わる三宅さんの力作です。

農村風景は、わたしたち日本人の心の原風景でもあります。応募作品の多くからは、そのことを感じさせる撮影者の優しいまなざしに触れることができました。今後も写真コンクールが継続し、タイトルにある「水・土・里ふるさと」の豊かな魅力のPRにつながること願ってやみません。（京都新聞社写真部長 奥村清人）

## 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取組み

### 第11回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

農地・水・環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に「第11回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を実施したところ、299点の応募がありました。

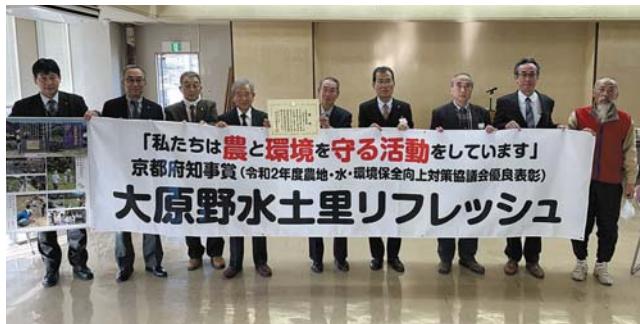
なお、受賞作品を令和3年2月1日～2月8日にイオンモールKYOTO（京都駅八条口）、令和3年2月20日～2月21日にイオン福知山店にて展示予定です。

受賞作品はP17に掲載しております。

### 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度及びその推進に資する活動に取り組み、地域ぐるみで効果の高い活動や先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

#### ■令和2年度優良表彰受賞組織



京都府知事賞  
大原野水土里リフレッシュ（京都市）



京都府農業協同組合中央会長賞  
久僧環境保全組合（京丹後市）



京都府農業會議会長賞  
和木集落協定（綾部市）



京都府土地改良事業団体連合会長賞  
丹波地区広域協定運営委員会  
瑞穂地区広域協定運営委員会  
和知地区広域協定運営委員会  
(3組織連名、京丹波町)

受賞組織の詳細は協議会ホームページに掲載しております。「京都府農地水」で検索してください。

## 第11回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール 入賞作品



京都府知事賞



「稻刈り楽しかったよ」  
瀧花 真依子(幼児)(綾部市)



「大きなスイカ」  
大矢 観太郎(小4)(亀岡市)



京都府農業協同組合中央会長賞



「えんどうまめ」  
佐野 慶駿(幼児)(八幡市)



「駐車場に一本はえる木」  
樋口 由奈(小6)(南丹市)



京都府農業會議会長賞



「大きな木であそんだよ」  
辻 勇飛(小1)(福知山市)



「真夜中のフクロウ」  
眞下 叶愛(小4)(福知山市)



京都府土地改良事業団体連合会長賞



「あじさいと野鳥」  
大江 結花(小2)(福知山市)



「アカハライモリを見つけたよ」  
竹中 希音(小6)(南丹市)



京都府農地水環境保全向上対策協議会長賞



「公園のしぜん」  
樋口 歩花(小4)(南丹市)



「大好きなカブトムシ」  
大石 崇文(小5)(南丹市)



京都府農地水環境保全向上対策協議会長賞



「やさいをとったよ」  
竹岡 昇太朗(小1)(亀岡市)



「とんでいるコウノトリ」  
味田 柚希(小2)(京丹後市)



「私の住む美しい里山」  
味田 百加(小4)(京丹後市)

# 京都府農業用ため池管理保全サポート協議会の取組み

## 協議会の設置目的

農業用ため池の決壊による水害その他の災害を防止するため、農業用ため池の適正な管理及び保全が図れるよう、ため池管理者が行う日常の管理等を支援します。

ため池管理者の皆様のご相談を直接お受けするため、協議会の設置について末尾「チラシ」のとおりお知らせしています。

## 地域指導員の配置

協議会の設置目的に沿った積極的な事業推進を図り、ため池管理者からの相談等要請にお応えするため、昨年10月から次のとおり「地域指導員」を配置し、ため池管理に係る専門知識により、地域に寄り添った機動的な相談対応を行っています。

蘆田 徹二 氏（元福知山市職員、農地・水 協議会地域推進員） 中丹地域担当

本田明日公 氏（元京都府職員、農地・水 協議会地域推進員） 丹後地域担当

増馬 孝之 氏（元京丹後市職員、農地・水 協議会地域推進員） 丹後地域担当

なお、上記の地域以外においては、当面協議会事務局員が対応しますが、今後、地域指導員を配置していきます。

「農業用ため池」の管理について  
ため池管理者のみなさまを支援する

### 京都府農業用ため池 管理保全サポート協議会

設立 令和2年3月30日  
構成 京都府、ため池を有する市町村  
京都府土地改良事業団体連合会



日常、どのように管理や点検をすればよいか  
管理者の皆様のご相談を直接お受けします

京都府農業用ため池管理保全サポート協議会

【事務局】  
京都府土地改良事業団体連合会（ため池サポート課）  
〒602-8054  
京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2  
京都府行西辨認  
連絡先 TEL (075)451-4137  
FAX (075)414-2777



« 次のような支援活動をします »

**相談対応**  
ため池の管理に関する相談をお受けします

**点検活動**  
ため池の現状を管理者の要請に基づいて点検します

**現地講習**  
ため池の管理に関する技術的な助言や研修・講習を行います

(サポート協議会の連絡先 電話(075) 451-4137)

ため池が危険な状態など緊急の場合、ため池の管理者でない方のご相談は、ため池の所在する市町村の担当窓口にお願いします

« ため池の日常の管理とは(例) »

**堤体の草刈り**  
電線、陥没、変形、モグラの穴などを確認しましょう

**定期的な点検**  
漏水の有無、洪水吐や取水施設が壊れていないか確認しましょう

**洪水吐の掃除**  
流れ木やゴミ、草木は除去し、越水の原因となる土のうや角落としによる高上げはやめましょう

**大雨の前は事前の減水**  
少しの減水でも効果があるので、大雨が予想される時は、ため池栓を抜いて水位を下げておきましょう

※「管理者のためのため池点検マニュアル」(京都府)を参考にしています

## 土地改良区等紹介コーナー

### 丹後土地改良区

関係市：京丹後市（平成16年に旧丹後6町が合併） 地区面積：803ha 組合員数：1,860人

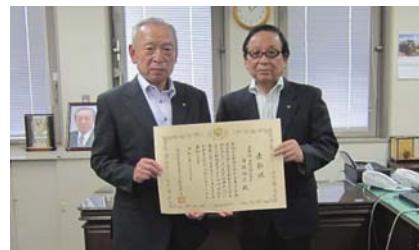
当土地改良区は府北部の丹後半島に位置し、丹後国営農地開発事業として昭和58年から平成14年にかけて造成され、事業完了後は市内52団地約800ha（畑669ha、水田134ha）の農地に係る施設の管理をしています。

#### ◆柔軟な営農支援への取り組み

当初、国営農地における基幹作物は、日本たばこ産業（株）（現在の「JT」）との契約栽培による葉タバコを中心とし、採取野菜、ダイコン、大カブ、飼料作物、梨の栽培などで展開されてきました。しかし、関係農家の廃作や経営規模の縮小、作付面積の減少、また入耕者の高齢化などにより、不作付地が増加しました。

この状況に対して、国営農地への入耕者の減少、土地改良施設の耐用年数経過による更新の必要性等を踏まえ、府、市と協働しながら「丹後農業実践型学舎（～令和元年度）」が創設されました。これは、①大規模野菜作による安定的な農業生産の担い手となる次世代型の農業経営者の育成 ②京野菜の一大产地の形成 を目的として創設されたもので、栽培技術・住居・就農農地の確保・地域生活まで関係機関が一体となって若手就農者の支援を行うというものです。これまでの30名の学舎卒業生によって73haが耕作され、開発農地入耕者の45歳未満の若手も35名のうち23名を学舎卒業生が占めています。

この事業により、令和元年度農業農村整備優良地区コンクールにて、農業振興部門農村振興局長賞を受賞いたしました。



農業振興部門農村振興局長賞受賞



京丹後製茶工場（京丹後市久美浜町）



キャベツの収穫

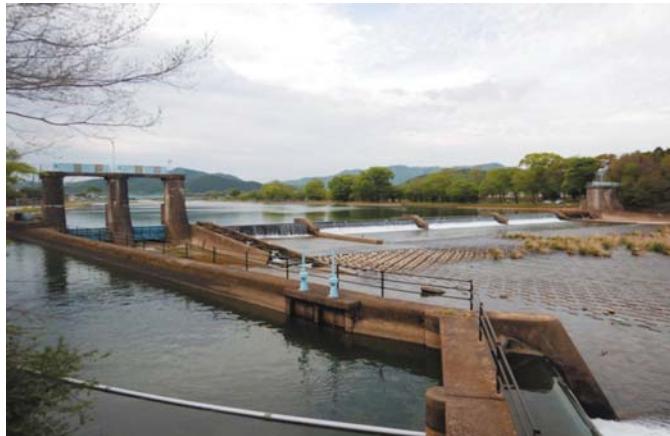


大根の収穫作業（鴨谷団地）

## 府内主要事業の紹介

### 府営農業用河川工作物応急対策事業（上桂川地区）

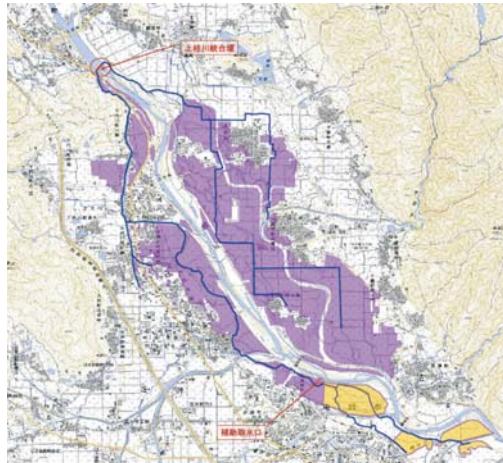
かみかつらがわ



事業期間	平成27年度～令和2年度
所 在 地	亀岡市千代川町川関、 南丹市八木町西田
受益面積	550ha
受益戸数	1,391戸
総事業費	863,608 千円
事業内容	洪水吐ゲート 3門 洪水調整兼土砂吐ゲート 2門 導水路調整ゲート 1門 土砂吐ゲート 4門 操作設備一式の改修 頭首工躯体構造物の補修

上桂川統合堰は、桂川にあった7井堰を昭和38年に可動堰として統合したもので、桂川両側の550haの優良農地にかんがいしています。しかしながら、ゲートの稼働不良等の不具合が生じており、洪水時の転倒不良による河川災害の恐れがあるため、早急に改修する必要がありました。

本事業により、10門のゲートをステンレス製に更新し、また開閉装置、操作設備も更新することにより、ゲートの稼働不良を解消し、住民の安心安全と農業用水の安定供給を確保します。



洪水時土砂吐ゲートの稼働不良(ゲートが上昇しない【写真右】)



左岸側を半川締切、工事を実施



工事中の現場で府立農芸高校生の勉強会を実施



左岸側5門、ゲート更新完了  
洪水吐ゲート2門 洪水調整兼土砂吐ゲート1門 土砂吐ゲート2門

## 令和2年度京都府農林水産業功労者表彰

令和2年11月28日（土）、京都市伏見区の京都パルスプラザで開催された京都府農林水産業功労者表彰式典において、多年にわたり農林水産業等に関する団体の役員として当該団体の発展に寄与し、農林水産業の振興及び発展への顕著な貢献により、次の2名の土地改良関係者が京都府農林水産業功労者表彰を受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。



稻田宗夫 氏  
巨椋池土地改良区前理事長  
京都府土地改良事業団体連合会前理事



谷口重則 氏  
舞鶴市加佐土地改良区理事長

### Web会議の活用について



Web会議様子

これまで会議等が対面で実施されてきましたが、コロナ禍で新しい生活様式・スマートライフの一環として多くの場面でWeb会議が活用されています。

Web会議はコロナ禍での3密を避ける対策の他、会議や研修での移動に伴う拘束時間が短く済むことで日程調整がしやすくなるなど様々なメリットがあります。

なお、Web会議を利用するにはインターネット環境の整備や用途に応じたWebカメラ等の導入などが必要ですが、パソコン、Webカメラおよびスピーカー等の導入には本会会員支援事業が活用いただける場合があります。

また、Web会議の実施や導入機器等に関して不明点があればご相談ください。



会議用Webカメラ



Webマイク・スピーカー



個別Webカメラ

## 資格取得者紹介



### 会計指導員に認定されました

事務局長 西尾 吉生

この度、会計指導員認定試験に合格し、会計指導員に認定されました。微力ではありますが、土地改良事業、土地改良区運営に関するご相談によるアドバイスができるよう、頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

※会計指導員は複式簿記会計に関する巡回指導、財務管理強化相談業務及び土地改良区等の指導監査を行う。

## 非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、施設の補修・更新などの事業に取組み、農業生産基盤の保全管理・整備の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。

なお、農業集落排水など農村生活環境の整備や国の補助対象ではない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

### ■対象となる事業種類

かんがい排水、畠地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水（宅地内配管、トイレ、浴室、洗面所の改修等）、土地改良区事務所、事務機器、車両、調査費など。

### ■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等

償還期限：最長25年（据置期間10年以内）

融資限度額：地元負担金（最低限度額50万円）

金利：0.2%（令和2年12月18日現在）

### 融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、  
京都府土地改良事業団体連合会、  
日本政策金融公庫京都支店  
農林水産事業融資課（075-211-2147）



## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020 京都府内受賞者紹介

本年度は、「新発見！ぼくのわたしのふるさと自慢！」をテーマに全国で4,883点の応募があり、京都府内の受賞につきましては、以下の1点が「入賞 MAEDA ちきゅうとみらい賞」を受賞されました。おめでとうございます。

今後、全国土地改良事業団体連合会により、入賞・入選作品の展示のほか、各種広報物で紹介するなど、様々な形で幅広く子どもたちのメッセージが届けられます。

※「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は日本の農業・農村を次世代に引き継いでいくため、子供たちに田んぼや農村に関心をもってもらい、「田んぼ」「ため池」「農業用水路」などの風景や、大切な水路を守っている人たちの姿を通じて、水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子供たちのまなざしを届けることを目的として2000年から全国水土里ネット・都道府県水土里ネットが主催で実施しています。



「ザリガニが田んぼであそぶ」



今中 暖真さん 年中(京都府舞鶴市)

# 第18回 水・土・里ふるさと 写真コンクール

## 作品募集

「水・土・里」を基本テーマとした、地域の自然環境や景観、農業や農業用施設との関わり、人とのつながりを映した写真を募集します。

募集  
期間

令和3年3月22日(月)まで



水土里の情景  
心に映る  
あなたの想い



みどり  
水土里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館  
TEL(075)451-4137 FAX(075)414-2777  
E-mail : info@midorinet-kyoto.jp  
URL : http://www.midorinet-kyoto.jp